

議会だより

2026
6月定例会

8月1日発行
vol.187

さくらんぼ

旨い!アスパラ

バラまつり

香りのバラ園!

水防訓練!

美しい田園風景

さくらんぼの収穫!!

ジベ付け作業

活気
あふれる
初夏の
南陽

contents

- あらまし…………… 2
- 補正予算…………… 3
- 予算特別委員会…………… 4
- 一般質問…………… 5～7
- 各常任委員会…………… 8～10
- 議員発議他…………… 11～12



ホームページは
こちらから

南陽市議会

検索

第2回臨時会

4月21日

6月定例会

6月1日▶6月19日

旧ハイジアパーク南陽跡地 活用検討事業費を補正

旧ハイジア活用検討進む！

第2回臨時会 4月21日

条例・その他4件

- ◆旧宮内公民館解体工事請負契約の締結
 - ◆南陽市税条例の一部改正
 - ◆南陽市都市計画条例の一部改正
 - ◆南陽市国民健康保険税条例の一部改正
- 以上4件は審査を経て可決した。

補正予算1件

- ◆令和8年度南陽市一般会計補正予算
 - ・GIGAスクール構想第2期情報機器等整備事業費
- 予算特別委員会の審査を経て可決した。

6月定例会 6月1日▶6月19日

承認1件

- ◆令和8年度南陽市一般会計補正予算についての専決処分の承認
- ・県議会議員選挙費に係る補正

報告5件

- ◆令和7年度南陽市一般会計予算繰越明許費の繰越額報告
- ◆令和7年度南陽市財産区特別会計予算繰越明許費の繰越額報告
- ◆令和7年度南陽市水道事業会計予算の繰越額報告
- ◆令和7年度南陽市下水道事業会計予算の繰越額報告
- ◆南陽市土地開発公社経営状況説明書の提出

同意2件

- ◆南陽市固定資産評価審査委員会委員の選任
- ◆南陽市宮内財産区管理委員の選任

条例・その他8件

※各常任委員会に付託（P8～10参照）

財産の取得2件

- ・ロータリ除雪車（1.5m級）
- ・スクールバス（2台）

- ◆南陽市手話言語及び障がい者の特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進に関する条例の設定

- ◆南陽市印鑑条例の一部改正

- ◆南陽市赤湯財産区温泉条例の一部改正

- ◆南陽市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
- 以上6件は審査を経て可決した。

- ◆南陽市道路線の廃止

- ◆南陽市道路線の認定

以上2件は審査を経て継続審査と決した。

補正予算1件

- ◆令和8年度南陽市一般会計補正予算

※予算特別委員会に付託（P4参照）

予算特別委員会の審査を経て可決した。

一般質問

- ◆5名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。

（P5～7参照）

追加議案1件

発議

- ◆市が奨励措置を行う事業者への土地所有に関する決議

（P11参照）

最終日に議員発議1件あり、審査を経て可決した。

中学校施設整備工事

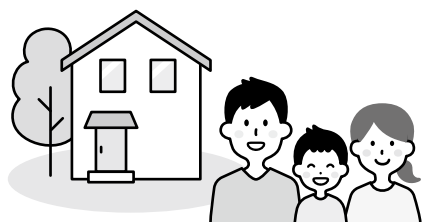
3,449万円

赤湯中学校トイレの経年劣化に伴う衛生環境の改善を図るため、排水管の更新、床・天井等の改修及び便器の更新（一部）を行うもの。また、沖郷中学校1・2年生教室の電気容量が不足しており、ICT学習等に支障を来していることから、コンセント設備を増設するもの。

子育て世代 住宅価格高騰対策支援金

1,440万円

住宅取得価格高騰への対策として、中学生以下の子を養育する世帯等が、宅地開発の際に市の支援を受けた分譲地を購入し、住宅を建設または購入する場合に、国の重点支援交付金を活用し最大350万円を交付するもの。



文化財案内標識設置工事

163万円

「水心子正秀誕生の地」に今後、整備する石碑と説明看板の完成に合わせ、来訪者の利便性を高めるため国道13号の元中山交差点付近の上り線と下り線に各1基ずつ案内標識を設置するもの。



石碑の建立予定地

令和8年度一般会計

補正予算の主なもの

移住定住推進事業

166万円

本市出身の学生向け食でつなぐクーポン事業について、将来的な地域定着や関係人口の創出を目的に対象者を拡充し、県内外を問わず大学等に在学の学生に対し、市内飲食店等で利用できる4,000円分のクーポンを交付するもの。

園芸やまがた産地発展 サポート事業費補助金

483万円

農業者の収益性の向上と園芸産地の持続的な発展に向けて生産性の高い経営体の育成を図るため、農業者団体等が取り組む農業用機械、設備等の導入を支援するもの。

畜産・酪農収益力強化整備等 特別対策事業費補助金

4億5,154万円

畜産・酪農業における経営効率化、生産性向上を図るため、畜産事業者による環境性能の高い畜舎等の施設整備を支援するもの。

旧ハイジアパーク南陽 跡地活用検討事業費

128万円

旧ハイジアパーク南陽の跡地活用について、国の財源を活用することを前提に、今後の具体的な利用形態について調査・検討を行い、基本構想を取りまとめるもの。

予算



6月16日

予算特別
委員会って
なに？
とこ？



議長を除く全議員
(15名)で構成され、
予算案を最終的に本
会議で採決する前に、
詳細な審査を通じて
問題点を洗い出し、
必要があれば修正を
加えます。

地方議会では、予
算特別委員会が各自
自治体の財政運営の透
明性を確保し、議会
としての監視機能を
果たす重要な場と
なっています。

歳入

文化振興基金繰入金

◎基金は28種類あり、
令和7年度末で約38億
9千400万円ある。一つ
ひとつの基金には目的
があり、社会情勢を受
け基金運用となると思
うが、今回の文化振興
基金の運用については、
文化会館のピアノを修
理することになっている。
計画的なものなの
か。

◎文化振興基金につい
ては、芸術文化の振興
に役立ててほしいとい
う意向の寄付金を積み
立てているもので、芸
術文化の振興に何らか
の用途があった場合に
使うことになっている。
◎基金は使わないもの
もあると思うが、運用
についての判断は。
◎活発に基金が活用さ
れるものと、内容に
よっては運用益を積み

立てている状態が続い
ているものもあり、内
容を精査し積極的に活
用していきたい。



修理予定のピアノ

歳出

旧ハイジアパーク 跡地活用検討事業費

◎5月26日付の新聞報
道で、旧ハイジアパー
ク跡地活用検討につい
て、市長は防災関係の
活用ができるかを調査
する具体的なイメージ
はあるが答えられない
との記事が掲載された
が、どういったことを
イメージしているのか。

◎今回の調査費は、想
定している対応ができ
るのか、基本的な調査
を行うということ。

具体的イメージを公
表した場合、それが固
定化してしまい、調査
結果によりイメージし
ているものが具現化で
きないとなったとき、
あの話は何だったのか
ということになりかね
ず、そのような回答を
行った。

◎市民の方々の意見も
踏まえ検討するよう要
望する。

関連

◎防災関係の活用がで
きるかを調査するにあ
たり調査会社はどこに
委託するのか。また、
工期はどれくらいか。
その結果次第では予算
もかわってくるので、
庁内では市長を中心に
丁寧を検討していく場
が必要だ。
◎調査会社については、

指名競争入札になるの
で市内事業者になると
考えている。工期は今
年度中とし、それをも
とに今後は庁内の新体
制のもと検討していく。



旧ハイジアパーク南陽

自主防災組織推進事業費

◎地域防災において住
民同士の「横のつなが
り」が重要だ。地域を
つなぐ人材の育成や活
動支援を強化しては。
◎住民同士の連携強化
が重要と考える。今後
も南陽市自主防災組織
連絡協議会を中心に、

人材育成や地域連携へ
の支援を進めていく。
◎今年は林野火災警報
の発令も相次いでいる。
消防団の負担軽減を見
据え、どのような警戒
態勢・注意喚起を行っ
ているか。

◎防災行政無線や市公
式SNSを活用してい
る。今後、消防団員の
意見を踏まえながら検
討していく。

◎地域コミュニティや
消防団の現場は、担い
手不足と負担増の限界
に直面している。これ
までと同じ取り組みで
は対応しきれないとい
う危機感を持って進め
るよう要望する。



地域の未来のために、みんなで支え合おう！

鋭く迫る！

一般質問

一般質問とは

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。
一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。
6月定例会では、6月4日～5日の2日間にわたり5人の議員が質問を行いました。
※質問の内容を要約して掲載します。
※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。
会議録は、9月に公開予定です。



映像配信はこちらから▶

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1濱田 藤兵衛（無会派） | 非正規職員の処遇改善急げ |
| 2中村 孝律（保守公明クラブ） | 白岩市政3期12年の総括について |
| 3佐藤 和広（保守公明クラブ） | 防災対応について |
| 4小松 武美（無会派） | CO ₂ 削減に地熱利用は |
| 5大友 太郎（保守公明クラブ） | 地域防災と元気な街への一歩 |



濱田 藤兵衛 議員

非正規職員の処遇改善急げ

◎1995年の「新時

代の日本の経営」とは、

公務員も含め非正規労

働者を6割まで増やし、

その非正規労働者は基

本的に時給制、有期雇

用制、退職金はない、

という方針だ。この方

針により1997年

25%に過ぎなかった非

正規雇用が現在は37%

まで増え、実質賃金は

年収445万円だったが現

在年収370万円に、年額

75万円も下がっている。

この非正規労働者のう

ち7割が女性労働者だ。

このため、1995年

から現在までは「失わ

れた30年」と呼ばれて

いる。同時にこの期間

は「就職氷河期」とな

り、現在も若者を生活

苦に追いやって、少子

化問題を引き起こして

いる。

南陽市役所の正職員

の人数及び会計年度任

用職員の人数と男女別

の人数は何人か。

〈市長〉令和8年4月1

日現在、正職員293人

に対し会計年度任用職

員149人。うち男性40人、

女性109人である。

◎人手不足は深刻にな

り、日本商工会議所と

東京商工会議所は「労

働者の最低賃金を引き

上げるべきだ」と発言。

経団連も、自分たちが

主張してきた経済政策

※トリクルダウン論は

効果がなかったと認め

た。人事院は「公募の

応募者よりも、むしろ

職場内の職務経験をも

つ有する者を任用するこ

とが適当であると任命権

者が判断する場合」公

募によらない再採用を
行う、との通知があつ
た。

山形県は会計年度任

用職員が正職員になる

ことが出来る任用試験

の実施を検討している。

市長の考えはどうか。

〈市長〉年度による雇用

が基本となるが、4回

までは公募によらず任

用できる。勤務の状況

に応じて適切に対応し

ていくのが望ましい。



南陽市役所

※トリクルダウン…企業の利益が賃金に少しずつ滴り落ちるという考え方。



中村 孝律 議員

白岩市政3期12年の総括について

重点施策と成果 次世代への思い

◎特に力を注がれた施策と、その成果は。

〈市長〉12年間の施政において一貫して市民の生命、財産を守る「防災・減災」を重点に、防災行政無線整備、自主防災組織強化、連絡協議会設立、市民参加型の水防訓練開催など、「自らの命は自ら守る」を理念に、自助、共助、公助の充実に継続して取り組んできた。

◎次期市政に必要な視点と方向性とは。

〈市長〉人口減少時代に対応した、持続可能で効率的な行政運営が必要と考える。

◎数ある取組の中で、特に印象深い施策とは。

〈市長〉市内各地で開催した「みらいトーク」、公共施設等の総合管理計画策定による公衆浴場統合、小学校統合や放課後子ども教室の開設、困難を抱える市民の皆様への支援策や次代を担う人材育成の取組では「南陽高校校役所部」「南陽みらい議会」の事業にも力を注いできた。

10周年の「ラーメン課プロジェクト」、赤湯駅の待合室リニューアル、南陽ワインフェスなど魅力発信において一定の成果もあった。

◎原点から振り返る、市長の市政理念とは。

〈市長〉本市の未来に責任を持ち、課題を先送りせず、限られた財源で最大の効果を追求し

ながら変化する行政課題や、行政需要に臨機応変に対応すること。

◎未来を担う子供たちに今、伝えたいことは。

〈市長〉HPVワクチンの重要性、必要性和いった正しい医学的知識を身につけて、自分たちが思い描く人生を歩んでいってほしい。

◎最後に、岐阜県飛騨市の取組、「飛騨市ファンクラブ」(昨年12月一般質問でも要望)について調査・研究をし、新たな取組、施策に繋げていただきたい。

関係人口創出が本市の持続可能な市政運営の大きな力ギとなる。

飛騨市ファンクラブ

「一緒に飛騨市を楽しもう」

・商店街振興
・市の飲食店など使えるクーポン
・会員対象のオンラインショップ
・飛騨市ファンの特典は、全国で開催



佐藤 和広 議員

防災対応について

漆山区の火災に対する 消火作業について

◎火災現場付近の貯水槽に水が入っていないことが、その原因は。

〈市長〉当該貯水槽は、消防水利基準適合外の施設で常時使用水利として運用しておらず水が貯留されていなかったが、その旨を地域や消防団へ情報共有がされていなかった。今後、適切な情報提供に努めていく。

消防水利の重要性

◎消防団に配備されている水利台帳を改訂し新しい水利台帳を配備できないか。

〈市長〉水利台帳改訂は、平成27年が最後となっ

ており、地図情報と現状との乖離が生じている。消防署と緊密に連携し最新情報を反映した水利台帳の改訂・更新を進めていく。

防災対応について

◎避難所運営における男女共同参画の視点から見た本市の対応は。

〈市長〉女性の視点や多様な意見を反映させる仕組みが不足している。女性の視点を運営に組み込み、誰もが戸惑うことなく過ごせる思いやりのあるルールづくりに努めていく。

防災ラジオ活用状況

◎5月の市水害対応訓練では、緊急告知防災ラジオを用いた起動試験放送を実施したが、

地区への事前周知が不足していたのではないかと。

〈市長〉広報誌やホームページ、地区長会での説明、ラジオの役割などを明記した案内を行うなど、事前啓発の充実に努める。

◎防災ラジオを自主的に活用できるよう研修会を活用し、実機を用いた操作確認や受信体験などの対策を行うとのことだったが、実際はどうか。

〈市長〉実機を用いた研修等の機会を十分に設けられなかった。今年度は各地区の自主防災会研修会を活用し操作確認や受信体験を順次実施していく。





小松 武美 議員

CO₂削減に地熱利用は

地熱利用で発電を

◎現在、イランとイスラエル・米国との紛争で、ホルムズ海峡を航行する船舶が制限され、発電に必要な重油などを安定して輸入することが困難な状況にあり、発電に必要な化石燃料の多くを国外からの輸入に頼る日本は、世界情勢に左右される。

原発を増やす考えもあるが、地震が多い日本では死活問題だ。核を人間が制御することはできないと私は思う。風力や太陽光発電といった再生可能エネルギーもあるが、天候、季節、昼夜に影響を受けてしまう。

しかし、地熱発電はそういったものに影響

を受けず安定している。地球温暖化の要因の一つである二酸化炭素の発生が火力発電より少なく、燃料枯渇や高騰といった問題もない。

地熱を利用しない手はないと思う。

脱炭素を掲げている本市にとって地熱発電は有意義だと思うが、調査・研究する考えはあるか。

〈市長〉地熱発電は、天候や昼夜、季節に影響を受けにくく、安定的に発電できる再生可能エネルギーの一つで、脱炭素社会に向け優れた点があると認識している。

導入に当たっては、地下資源の状況、採算性、開発に要する期間、周辺環境との調和など、

容易に解決しがたい課題が多くある。また、環境省が提供している、再生可能エネルギー情報システムにおいて、エネルギーを生み出せる可能性、いわゆるポテンシャルが、本市では太陽光の54万分の1に過ぎず、現実的な発電資源として位置づけることが難しい状況である。

地熱発電



大友 太朗 議員

地域防災と元気な街への一歩

地域を守る自主防災と避難の備え

◎本市の自主防災組織の現状と平常時・災害時の活動内容、組織強化への取り組みは。

〈市長〉本市の自主防災組織数は149組織、加入世帯数は1万1千205世帯。平常時は防災知識の普及や地域の安全点検、防災訓練などを行い、災害時は避難経路の確認や初期消火、救助、避難所の運営など多角的な活動が自主的に展開されている。

今後は組織全体の意識向上を目指す全体研修会を年一回開催し、活動の継続や連携強化を後押ししていく。

◎避難行動要援護者の人数、個別避難計画作

成の現状と課題は。

〈市長〉名簿登録者は1千184人。計画作成に当たり、災害リスクの高い方から優先的に策定を進めている。一方で、個人情報保護と地域での情報共有のバランス、若い人がおらず支援者が見つからないといった課題があり、ケアマネジャー等の福祉専門職と連携を深め、円滑な計画作成に努める。

◎廃業案件に対するマッチング事例や、山形県事業承継引継ぎ支援センターとの連携状況は。

〈市長〉行政主導によるマッチング事例はないが、民間では廃業した飲食店の味を復活させた事例がある。

後継者不足などの経営課題は、市単独での対応に限界があるため、県センター等と広域的な連携の維持強化を図っていく。



南陽市赤湯財産区 温泉条例の一部を改正

総務 常任委員会

6月10日

審査報告

付託議案1件

◆温泉需給廃止届提出に基づき、温泉需給廃止を行うため、条例の一部改正

医療法第42条第1項

第5号に規定する施設の事業の廃止に伴い令和8年3月2日に温泉需給廃止届出が出されたため、温泉受給者一覧表からこの事業者の項を削除するもの。

委員から届出提出のあった月分の温泉使用料と、廃止後の送湯管の取扱いについて質問があり、温泉使用料は温泉供給日までの日割りで納付されたこと、送湯管は事業者所有であり、埋設されてある道路管理者と今後協議されていくことになるとの説明を受けた。

委員からは、市民の財産である温泉は、総

合的に判断して有効活用していただきたいとの意見が出された。

以上、審査の結果、全員異議なく可決した。

行政報告

〈総務課〉

・一日市長体験について（小学校5年生対象）
・第38回ふるさと南陽のつどい（9月23日）
〈みらい戦略課〉

・移住相談4月・5月の2か月間で35件

・南陽市学生向け「食でつながるクーポン事業」
8月・9月の2か月間
・おきタク運行実績は4月の運行便数16.8便／日

・JR赤湯駅エレベーター改修工事について
〈総合防災課〉

・クマ目撃情報、安全対策について

管内視察

5月21日

◆結城豊太郎記念館

結城豊太郎翁は赤湯出身で、大蔵大臣や第15代日本銀行総裁などを歴任し、日本経済の発展に大きく貢献した郷土の誇る偉人である。ふるさととは国の根幹であるという理念のもと、生涯にわたり郷土の発展と人材育成に尽力された。



結城豊太郎記念館視察

記念館は結城翁の功績や思想、歴史的に貴重な資料を数多く保管しており、人となりを後世に伝えるために設

立された。

人口減少や地域課題が深刻化する現代で、地域を愛し、人材育成を重視した結城翁の考え方は、今後の自治体運営にも通じるものがあり、未来を担う人づくりと地域づくりに取り組みことの重要性を再認識することができた。

◆山形鉄道(株)（フラワー長井線）

地域公共交通の現状と課題、さらには利用促進に向けた取り組みを把握するため、山形鉄道(株)フラワー長井線の視察を行った。

視察では、実際に乗車し、沿線の利用状況や維持管理状況、観光資源を活用した誘客事業、本市の財政支援、国の再構築事業の採択状況についても説明を受けた。

人口減少や少子化の

進行、自家用車への依存などにより利用者が減少し、運営を取り巻く環境は厳しさを増していることや、運転士の確保なども課題となるなか、通学、通勤をはじめとする地域住民の移動手段としての役割を担っていることも確認することができた。

維持・継続には行政支援と、地域住民や民間を含めた幅広い連携が不可欠であり、地域公共交通のあり方を検討する上で、とても有意義で、充実した視察となった。



フラワー長井線乗車視察

（委員長 中村孝律）

情報提供のバリアフリー化促進 障がいの有無にかかわらず等しく情報提供を

文教厚生 常任委員会

6月11日

審査報告

付託議案3件

◆南陽市手話言語及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進に関する条例の設定

手話が言語であるとの理解の普及を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が等しく情報を得ることができるバリアフリー化を推進することを目的とし、新たに条例を設定するもの。



委員からは、窓口等での円滑な意思疎通を図るため、計画的なタブレット端末等、デジタル機器の導入を進め

る検討をしてほしいと意見が出された。

◆南陽市印鑑条例の一部改正

国の印鑑登録証明事務処理要領等の一部改正に伴い、印鑑登録事務の運用や電子データ管理体制を整理するとともに、個人番号カード機能を有する特定在留カード等を交付申請に利用できるようにするなど、所要の改正を行うもの。

◆南陽市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

市長が委託した事業者以外の者が、収集所に排出された一般廃棄物を収集又は運搬することを禁止するもので、違反した場合、指導及び公表できるよう規定を追加するもの。

委員から周知方法やパトロール体制について質問があり、周知は

管内視察

5月19日

◆育みアカデミー PeeeACE.mum (ピースマム)

旧中川児童館(川樋)に3月から開設された児童発達支援+放課後デイサービス多機能型事業所を視察した。児童の手が届く窓が



巨大タッチモニターを前に

ホームページやポスターで行い、衛生組合長と連携し監視強化を図っていくと説明された。

以上3件は、審査の結果、全員異議なく可決した。

今後の課題は利用者を増やすことであると説明された。



明るく広いスペースも確保

◆夕鶴の里

映像システムの改修と外壁改修工事等の予定箇所の確認とともに、本市の養蚕・製糸業の移り変わり、近代文学作家の木下順二氏の作品「夕鶴」との関係などの説明を受け、地域

の歴史や暮らしを学ぶ教育的役割を持つことを改めて再認識した。



全国から集まってきた資料

次に、語り部ホールに移動し、民話会会員による民話を拝聴し、語り口の温かさや間の取り方などから、文字資料だけでは伝わらない民話の魅力を感じた。



口伝の重要性を実感

(委員長 佐藤信行)

南陽市道路線の廃止 及び認定を協議！

産業建設 常任委員会

6月12日

審査報告

付託議案2件

◆南陽市道路線の廃止

南陽市道路線再編のため廃止するもの。

・西工業団地3号線

LⅡ 149・3m

◆南陽市道路線の認定

南陽市道路線整備のため認定するもの。

・西工業団地3号線

LⅡ 250・8m



市道路線認定・廃止箇所を確認

以上2件は、既に認定されていた市道区域を含む用地2区画を一

体的に利用したいという民間企業の要望を受け、昭和59年12月議会において、市道の一部（以下「再編道路」という）について部分的に廃止して、民間企業と覚書を締結し再編道路の使用を認めてきた。しかし、その民間企業は平成12年以降、再編道路部分を一体利用する必要がなくなっており、そのため昭和59年の覚書を解消し、再編道路を西工業団地3号線の一部として再認定するもの。

委員から、再編道路の使用を認めた当時の覚書の提示がないことや、他にも同様の案件がないかなど、さらに十分な審査が必要との意見があり、審査の結果、委員全員一致で継続審査と決した。

管内視察

5月19日

◆市道稲荷森古墳南線道路改修工事

組柳地区と長岡地区及び、赤湯小学校とを結ぶ道路を新設する現場を視察した。

隣接する住宅地から赤湯小学校までの通路が整備され、子供の安全が確保できる。



市道新設路線を確認

◆花見町古堤水辺空間整備事業

都市計画道路「赤湯停車場線」の整備に合わせ、沿道の水辺空間「花見町古堤」を再整備する現場を視察した。



花見町古堤水辺空間整備事業現地確認

地域住民や来訪者が安全で快適に暮らすことのできる環境づくりを推進するもので、古堤の周りを周遊できる歩道も整備され、新しい空間での賑わいが期待される。

◆蔵cafe蹴鞠

空き店舗等対策支援事業補助金と、創業支援補助金を活用した、宮内地区にある「蔵cafe 蹴鞠(けまり)」の取組を視察した。



補助金を活用しオープンした店舗を視察

(委員長 外山弘樹)

市が奨励措置を行う事業者への土地所有に関する決議を可決

今後、市財政を用いて実施される奨励措置の適正な運用と地域への確実な利益還元を図るため、議会最終日に、産業建設常任委員会より議員発議の提案があり、全員異議なく可決した。

1 趣旨

南陽市ビジネスホテル誘致条例等に基づく奨励措置の適正な運用および事業継続性の確保のため、奨励措置の対象事業者に土地所有要件を求める。

2 提出の理由

(1) 事業継続性の確保

奨励措置を受けて行われる事業は長期的な投資回収を前提とするものであり、土地所有形態は事業継続性に直結する。現行制度では土地所有に関する規定がなく、賃借による撤退リスクが残されている。奨励措置を付与する以上、安定的な事業運営が可能な事業者を対象とすることが合理的である。

(2) 公的支援の効果最大化

奨励措置は市財政を用いて実施されるものであり、地域に長期的利益をもたらす事業者を優先する必要がある。土地所有は、事業者の地域への*コミットメントを示す重要な指標となる。

(3) 地域経済への安定的波及効果

奨励措置を受けて行われる事業は雇用創出、観光振興、地域事業者との連携など、多面的な経済効果を持つ。また、土地所有要件を設けることで、これらの効果が長期的に維持される可能性が高まる。

3 結語

奨励措置を受ける事業者に対する土地所有要件の追加は、市内事業所の安定的整備と地域経済の持続的発展に資するものである。奨励措置の適正な運用と地域への確実な利益還元を図るため、今後、相談を受ける場合においては、本意見について検討されるよう強く求める。

以上、決議する。

令和8年6月19日

南陽市議会

※コミットメント…責任ある約束

受賞おめでとうございます



島津 善衛門 副議長
(議員在職10年)

全国市議会議長会表彰

この度、全国市議会議長会より島津善衛門副議長が議員在職10年表彰を受賞されました。

地方自治の発展に多大なるご功績を認められ表彰されたものです。

クマに注意!!



◆クマに出会わないためには……

- ・鈴やラジオ等で音を出す
- ・フンや足跡を見つけたら立ち去る
- ・出没情報のある地域への入山等を避ける
- ・餌付けとなる食品や生ゴミ、果実を放置しない
- ・クマの行動時間である早朝、夜間は特に気をつける

◆万が一クマに出会ってしまったら……

- ◎遠くにクマがいた場合：落ち着いてその場から離れる。クマが驚く恐れがあるので、大声を出したり、走って逃げたりしない。
- ◎近くにクマがいた場合：クマに背を向けずに、クマを見ながら、ゆっくり落ち着いて後退する。大声を出したり、あわてて背を向けて逃げたりすると、クマを刺激しかえって危険なので、冷静に対応する。

なお、クマを目撃したら南陽警察署又は南陽市総合防災課まで通報ください。

南陽市総合防災課 ☎40-3211 内線381・382

**クマの行動範囲にはなるべく近寄らない、
クマの行動時間に不必要な外出は避けるようにしましょう！**

6月定例会 ふるさと納税返礼品

6月の議場展示品は、南陽市を代表するラーメンです。

市内にはたくさんのおいしいラーメン屋さんが切磋琢磨しており、また、ラーメンは市外の方に本市を知っていただくきっかけにもなっています。

残暑を熱々のラーメンや、冷たい麺で楽しみながら元気に乗り切りましょう。

また、6月議会最終日には、宝石のような真つ赤な大粒のさくらんぼが議場に展示されました。

今年のさくらんぼは豊作で、たくさん恵みをもたらしてくれました。

ふるさと納税サイトには、そのほかにもたくさんさんの品物が登録されています。市外のお友達や親戚の方へぜひご紹介ください。



表紙写真

今号は初夏を迎えた

南陽市の魅力を一枚にまとめてみました。

中央には、市内外から多くの来場者で賑わう「バラまつり」の美しいバラを中央に配置し、まわりには旬を迎えた果物と野菜を掲載。

ジベ付け作業と田植え作業の様子に田植え後の美しい田園風景。

地域の安全・安心を守る防災訓練の様子を掲載しました。

豊かな自然と、愛情いっぱい育てられた安全な食物と人情にあふれるわがふるさと。

人々の営みが織りなす、活気あふれる初夏の南陽市を感じていた

だけでは幸いです。

(中村 孝律)

編集後記



今号から新たなメンバーで議会だよりを編集しています。市民のみなさまにとって読みやすいよう心掛けていきます。賛否を問わず、どちらも大切なご意見です。みなさまからのご感想お待ちしております。



(高岡 遼多)

委員長 高岡 遼多

副委員長 中村 孝律

委員 小松 武美

委員 外山 弘樹

委員 佐藤 和広

委員 茂出木 純也